

2 0 2 5 年度 自己点検・評価報告書

学校法人ザイナスアカデミー

専門学校ザイナス I T 専門大学校

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、専門学校ザイナス IT 専門大学の 2025 年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

作成日 2026 年 6 月 5 日

校 長 弓田 桂三

自己点検・評価責任者

吉良 和也

(目次)

I	教育理念・教育目標（育成人材像）	1
II	重点項目	1
III	基準項目・自己点検	2
	基準（1） 教育理念・目的	2
	基準（2） 学校運営	2
	基準（3） 教育活動	3
	基準（4） 学修成果	4
	基準（5） 学生支援	4
	基準（6） 教育環境	5
	基準（7） 学生募集	5
	基準（8） 財務	5
	基準（9） 法令遵守	6
	基準（10） 国際交流	6

(評価結果)

- 4：達成度が極めて高い
- 3：ほぼ達成している
- 2：達成がやや不十分であり、若干改善を要する
- 1：達成は不十分で改善を要する（不適合）

I 教育理念・教育目標（育成人材像）

【教育理念】

何事にもチャレンジする自立したグローバル人材を育てる

【教育目標】

- ・ビジネス分野の知識と感覚がつくような教育を行い、主体性を持ち、就職・進学に即戦力として直結する人材を育成する。
- ・異文化を受容・理解し、また自らもそこで活躍できる国際感覚を身に付け、グローバル環境で即活動できる人材を育成する。
- ・将来についてのキャリア展望が明確に形成できるようなセルフマネジメント力を身につけることを目標とする。
- ・IT の知識とビジネス創造性を駆使することで、社会やビジネスの課題を整理・提案し、解決力のある人材を育成する。

II 重点項目

【重点項目】

- ・教育理念・育成人材像に沿ったカリキュラムの質の向上
- ・学生の出席率の向上のための取り組み強化
- ・就職率の向上のための取り組み強化

【取り組み状況ならびに成果と課題】

- ・座学授業で授業の理解度の確認などが十分に行われているとは言えず、意欲や理解度などによる学習成果の差が開き二極化が進んでいる。
- ・2025年度は留学生の出席率が低く、日本人学生の出席率は平均83.2%であった。今後は、より積極的に学生とのコミュニケーションを深め、個別相談など学校側から学生に積極的に連絡するよう取り組み出席率の向上を図る必要がある。

Ⅲ 基準項目について

基準(1)教育理念・目的

評価項目	自己点 検評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

【課題及び今後の改善方策】

- ・学生、保護者への学校の理念・目的などの周知が徹底されていないので、適時学生との面談及び保護者への連絡・通知を行う。
- ・学生が卒業後の社会環境で活躍できるよう、カリキュラム内容の更なる充実を目指す。加えて、学校の魅力に繋げるための研鑽を行う。

【特記事項】

- ・特になし。

基準（2）学校運営

評価項目	自己点 検評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

【課題及び今後の改善方策】

- ・教育活動に関する情報公開が不十分である。また、情報システム化等による業務の効率化も遅れている。

【特記事項】

- ・特になし。

基準（３）教育活動

評価項目	自己点 検評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

【課題及び今後の改善方策】

- ・職業教育に関する教科目・研究機材などの質を充実させる。
- ・当校カリキュラムの方向性や強み、効果など、カリキュラムの改善を図り、当校の特色するため検証を継続する。
- ・教員の専門分野における専門性・質の向上とスキルアップを行う。

【特記事項】

- ・特になし。

基準(4)学修成果

評価項目	自己点 検評価
・就職率の向上が図られているか	2
・出席率の向上が図られているか	2
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

【課題及び今後の改善方策】

- ・就職活動も混乱なく進められているが、就職活動に消極的な学生も散見される状況であった。
- ・対策期間以前から資格取得の動機づけ、維持及び向上を図るべく指導を行う。
- ・出席率と退学率は関係しているため、特に留学生に対し出席率向上の指導を行う。

【特記事項】

- ・特になし。

基準(5)学生支援

評価項目	自己点 検評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	2
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4

【課題及び今後の改善方策】

- ・就職担当による指導・支援体制に弱い面がある。
- ・学外活動へ参加する学生へのさらなる指導教育サポートの拡充をすすめる。
- ・卒業後の留学生への連絡、現況把握ができていないため定期的に連絡し現況把握に努める。

【特記事項】

- ・経済面に不安を抱えている学生が増えており、その対策を研究している。

基準(6)教育環境

評価項目	自己点 検評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、について十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	3

【課題及び今後の改善方策】

- ・特になし。

【特記事項】

- ・特になし。

基準(7)学生の受入れ募集

評価項目	自己点 検評価
・学生募集活動は、適切に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	3

【課題及び今後の改善方策】

- ・入学時の入学金、校納金の納付時期が遅れる場合があり適正時期に納付されていない。
- ・授業料の未納が多いため、入学前の面接時に学費支弁能力の確認の強化を行う。
- ・今後も過去入学実績のある九州圏内の日本語学校を訪問し情報共有を行う。

【特記事項】

- ・特になし。

基準(8)財務

評価項目	自己点 検評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適切に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

【課題及び今後の改善方策】

- ・新入生の安定的な確保を目指す。
- ・対費用効果を考えた経費計上を目指す。

【特記事項】

- ・特になし。

基準(9)法令等の遵守

評価項目	自己点検 評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	4

【課題及び今後の改善方策】

- ・自己評価の実施が不十分である。
- ・個人情報保護規程の取り扱いについて、教職員会議の場などで定期的な発信と共有に継続して取り組む。

【特記事項】

- ・特になし。

基準(10)国際交流

評価項目	自己点 検評価
・留学生に対する相談体制を整備しているか。	4
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4

【課題及び今後の改善方策】

- ・留学生の在籍管理やビザ更新に関しては、法令遵守につとめており、留学生の就職支援においても担任間で連携をとり包括的な支援を行っており、留学生の在留資格等適正な手続きと在籍管理が行われる体制を整備している。また、留学生用の相談できる体制として LINE にて留学生グループを設置し情報の共有を図った。別途個別面談を行い日常の不安点などヒアリングを行った。
- ・除籍（退学）後の情報入手やフォローが出来ていない。除籍（退学）後のフォローを行っていく。
- ・当校のシステムアーキテクトコースの日本人学生及び田北調理師専門学校の日本人学生との交流を増やしていきたい。

【特記事項】

- ・特になし。

以上